



いずみ

令和4年3月1日発行

和泉小の教育目標

かしこい子
やさしい子
たくましい子

(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <<http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>> 校長 鷲見 真太郎

「学びに向かう力」を育てるために

校長 鷲見 真太郎

朝晩の寒さも少しずつ緩み春の兆しを感じるこの頃、今年度最後のひと月となりました。3月は年度の締めくくりとして、一年間の学校の取組とその成果や課題を検証する時期でもあります。

本号見開きに今年度の児童・教員・保護者アンケートの結果と考察を掲載しております。全体を通しての分析は、「考察」の部分をお読みいただきたいのですが、私が特に注目しているのは、児童の主体性に関わる「自ら課題を見つけ解決している」という項目です。児童による肯定的評価の割合に対し、教員・保護者からの割合が低くなっています。つまり、児童たちは「できている」ととらえているが、大人から見ると不十分に見える、ということです。

5月号の学校だよりで、本校では「学びに向かう力」の育成に力を入れていくことを申し上げましたが、今後は子供たち自身が学びの主体となる、実効的な取組を進める必要性を感じています。その一つとして、日常的な特別活動の充実を考えています。具体的には、学級会活動や係活動、委員会活動やクラブ活動、たて割り班活動などを、さらに子供たちによる発想で計画し、実行・発信していきます。

コロナ禍における活動の制限で、最も影響を受けたのが、学校行事です。行事には子供たちが経験できる行事特有の要素があります。活動することの楽しさに加え、自分たちで計画して実行する経験、目標を立てて成し遂げる達成感などです。ウイズコロナを念頭に、学校の教育活動も変化させる必要があり、特に学校行事で身に付けてきた子供たちの力は、違った形で補っていかねばなりません。その一つが上記、日常的な特別活動だと考えています。

自分たちのクラス・学年・学校は自分たちでさらに良くしていく。そうした経験を積み重ねることで、子供たちにとって、和泉小学校をさらに魅力的にし、前向きに成長させる場としていきたいと考えています。実は、取組はすでに始めていて、ノーチャイムや生活のルールなどについて、代表委員会を通じて話し合っています。最後の委員会活動が中止になったため、3月に臨時の代表委員会を設定し、話し合いを進めます。

子供たちの前向きな活動を原動力として学びに向かう力を高める、和泉小学校の大きなうねりを作っていきます。

3月の行事予定

1日(火)	保護者会(3・4年) 安全点検日 避難訓練	14日(月)	4時間授業(6年生のみ5時間授業) 6年遠足予備日 けやき面談⑧
3日(木)	保護者会(5・6年) けやき面談①	15日(火)	5年遠足予備日 けやき面談⑨
4日(金)	遠足(5年) 保護者会(1・2年) けやき面談②	16日(水)	けやき面談⑩
7日(月)	安全指導日 けやき面談③ 交通安全指導日①	17日(木)	臨時代表委員会(5時間目)
8日(火)	遠足(6年) けやき面談④	18日(金)	給食終了 通級終
9日(水)	交通安全指導日② けやき面談⑤	22日(火)	特別時程 午前授業 大掃除
10日(木)	けやき面談⑥	23日(水)	特別時程 1~5年午前授業(給食無し) 卒業式予行 6年生 5時間目あり(給食あり)
11日(金)	けやき面談⑦	24日(木)	卒業式(1~5年休み)
		25日(金)	特別時程 午前授業 修了式